

別紙 2

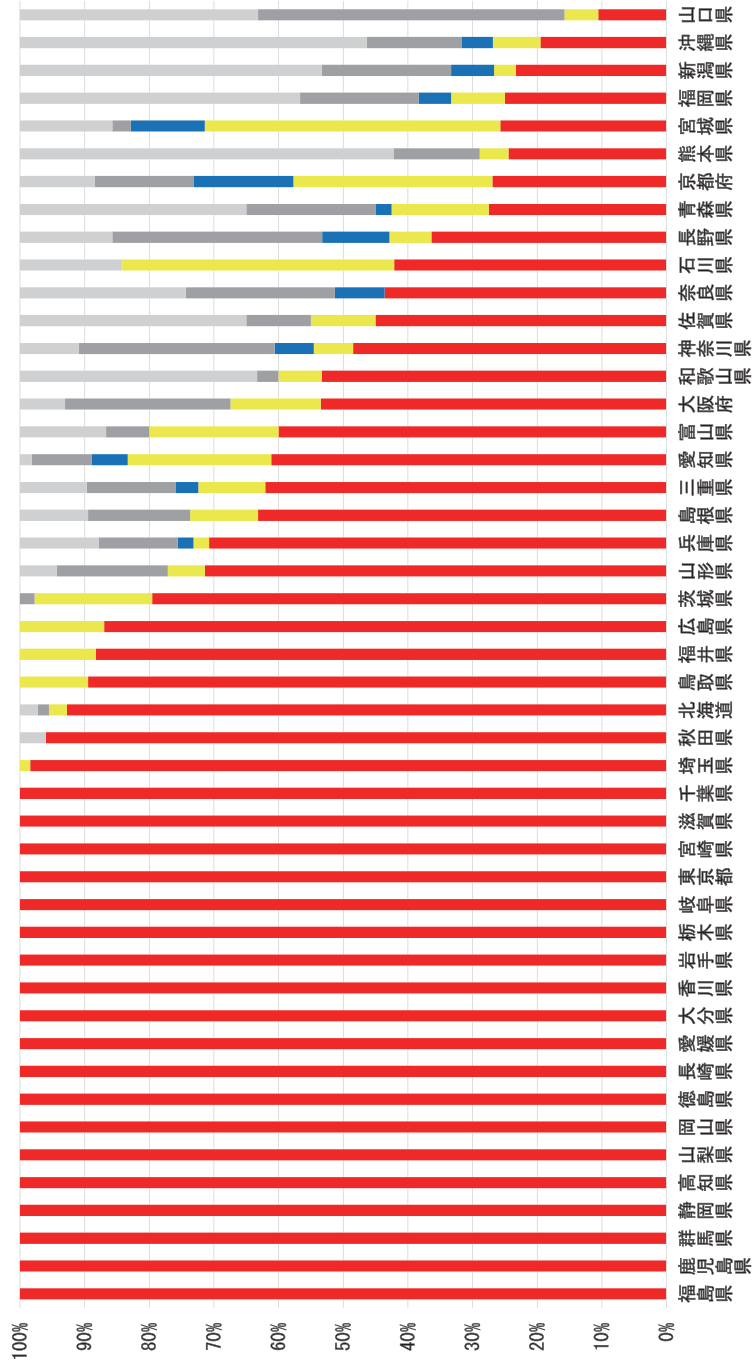
都道府県別公費負担実施状況（表）

都道府県名	市区町村数	公費負担実施	R4年度から実施(予定)	R5年度から実施予定	検討中	未定
北海道	179	166	5	0	3	5
青森県	40	11	6	1	8	14
岩手県	33	33	0	0	0	0
宮城県	35	9	16	4	1	5
秋田県	25	24	0	0	0	1
山形県	35	25	2	0	6	2
福島県	59	59	0	0	0	0
茨城県	44	35	8	0	1	0
栃木県	25	25	0	0	0	0
群馬県	35	35	0	0	0	0
埼玉県	63	62	1	0	0	0
千葉県	54	54	0	0	0	0
東京都	62	62	0	0	0	0
神奈川県	33	16	2	2	10	3
新潟県	30	7	1	2	6	14
富山県	15	9	3	0	1	2
石川県	19	8	8	0	0	3
福井県	17	15	2	0	0	0
山梨県	27	27	0	0	0	0
長野県	77	28	5	8	25	11
岐阜県	42	42	0	0	0	0
静岡県	35	35	0	0	0	0
愛知県	54	33	12	3	5	1
三重県	29	18	3	1	4	3
滋賀県	19	19	0	0	0	0
京都府	26	7	8	4	4	3
大阪府	43	23	6	0	11	3
兵庫県	41	29	1	1	5	5
奈良県	39	17	0	3	9	10
和歌山県	30	16	2	0	1	11
鳥取県	19	17	2	0	0	0
島根県	19	12	2	0	3	2
岡山県	27	27	0	0	0	0
広島県	23	20	3	0	0	0
山口県	19	2	1	0	9	7
徳島県	24	24	0	0	0	0
香川県	17	17	0	0	0	0
愛媛県	20	20	0	0	0	0
高知県	34	34	0	0	0	0
福岡県	60	15	5	3	11	26
佐賀県	20	9	2	0	2	7
長崎県	21	21	0	0	0	0
熊本県	45	11	2	0	6	26
大分県	18	18	0	0	0	0
宮崎県	26	26	0	0	0	0
鹿児島県	43	43	0	0	0	0
沖縄県	41	8	3	2	6	22
計	1,741	1,273	111	34	137	186

※公費負担実施市区町村は、初回検査または確認検査で公費負担実施をしている市区町村をいう。

別紙3

都道府県別公費負担実施状況 (図)

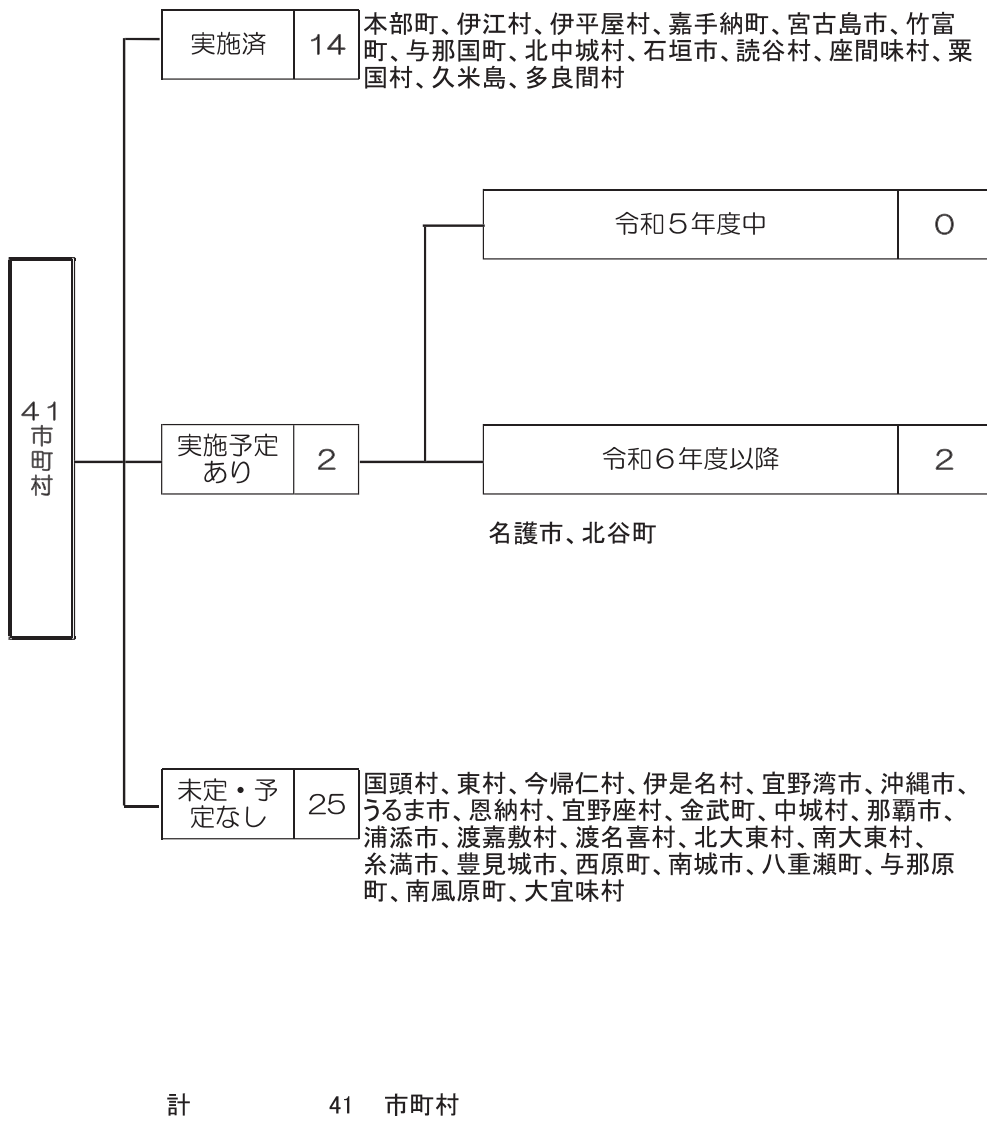


※公費負担実施市区町村は、初回検査または確認検査で公費負担を実施している市区町村をいう。

【資料3：新生児聴覚検査公費負担に係る市町村意向調査結果】

新生児聴覚検査公費負担に係る市町村意向調査結果

令和4年4月



XI. 資料・様式

【資料4：新生児聴覚検査体制整備事業沿革】

年度	月	区の動き	市の動き	市町村の動き
平成12年度～16年度		国庫補助事業開始（年間5万人規模のモデル事業） 「新生児聴覚検査の実施について」厚生労働省通知		
平成18年度		検査費用を一般財源化（市町村へ地方交付税補填）		
平成24年度		母子健康手帳に新生児聴覚検査の結果記載欄追加		
平成27年度	4月		沖繩県聴覚・中等度難聴補聴器購入費助成制度開始 （障害福祉課）	
平成28年度	11月		地域周産期母子医療センター設置にあたり県立北部病院への機器購入補助 （財源：沖縄県北部地域及び琉球緊急医師確保基金）	
平成29年度	12月		新生児聴覚検査体制整備事業開始	
	1月		沖繩県新生児聴覚検査体制整備協議会設置 （公財）沖繩県小児保健協会主催保健セミナー開催 「小児聴覚医療の現状と保健師の役割」 琉球大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師 我形 章	
	2月		総合周産期母子医療センター（県立中部病院）へ 検査技師配置支援（令和元年度まで）及び聴覚検査機器購入補助 （財源：沖縄県地域医療連携総合確保基金）	
平成30年度	3月	厚生労働省、文部科学省の副大臣を共同議長とする難聴児の早期支援に向けた保健・医療・教育の連携プロジェクトチーム発足	地域周産期母子医療センター（県立入重山病院）へ聴覚検査機器購入補助 （財源：沖縄県地域医療連携総合確保基金）	
令和元年度			新生児聴覚検査体制整備事業研究会開催 ①「沖繩県の難聴児と新生児聴覚検査支援体制整備の必要性」琉球大学 大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学 講座 教授 鈴木 幹男 ②「沖繩ろう学校乳幼児教育相談について」沖繩ろう学校 教諭 中原 美奈子	本部町、伊平屋、竹富町にて公費負担開始
令和2年度	5月		琉球大学へ新生児聴覚検査体制整備事業委託	宮古島市、伊江村、嘉手納町、与那国町にて公費負担開始
	8月		琉球大学病院 きこえる支援センター設置	
			二次聴覚検査機関・精密聴力検査機関向け新生児聴覚検査体制の説明会開催	
	10月		令和2年10月15日（水）研修会（Web開催及びオンデマンド配信） 【午後の部：保健師・関係者向け】 【夜の部：産科医・小児科医向け】	
			小規模分娩機関への新生児聴覚検査機器（自動ABR）購入補助 （財源：母子保健衛生費）	
令和3年度	4月		琉球大学へ新生児聴覚検査体制整備事業委託	
	6月		令和3年6月12日（土）講演会（Web開催）【聴覚見を持つ保護者向け】	
	7月		令和3年7月14日（水）研修会（Web開催及びオンデマンド配信）【自治体担当者向け】	
	11月		令和3年11月13日（土）市民公開講座（現地開催及びWeb配信）【県民向け】	
	2月		令和3年11月27日（土）研修会（現地開催）【助産師会会員向け】 令和4年2月13日（日）研修会（Web開催）【産科医問題研究会会員向け】	
			小規模分娩機関への新生児聴覚検査機器（自動ABR）購入補助 （財源：母子保健衛生費）	
令和4年度	4月		琉球大学へ新生児聴覚検査体制整備事業委託	石垣市、北中城村、多良間村にて公費負担開始
	9月		令和4年9月24日（土）講演会（現地開催）【産科医養成者向け】	
	12月		令和4年12月16日（金）講演会（Web開催）【リハビリ関係者向け】	
	2月		令和5年2月6日（月）～7日（火）相談指導・情報交換会・講演会等（宮古特別支援学校）	
	3月		令和5年3月9日（木）講演会（現地開催）【宮古島関係者向け】	
令和5年度	4月	こども家庭庁発足（こども家庭庁に新生児聴覚検査を移管）	琉球大学へ新生児聴覚検査体制整備事業委託	恩納村、読谷村、盛岡味村、粟国村、南大蔵村にて公費負担開始

【資料5：きこえとことばの発達のチェックシート】

～ きこえとことばの発達のチェックシート ～

※ 発達は個人差がありますので、参考程度にとどめてください

《0 か月頃》

- 突然の音にビックとする
- 突然の音にまぶたをギュッと閉じる
- 眠っているときに突然大きな音がするとまぶたが開く

《1 か月頃》

- 突然の音にビックとして手足を伸ばす
- 眠っていて突然の音に目を覚ますか、または泣き出す
- 目が開いているときに、急に大きな音がするとまぶたを閉じる
- 泣いているとき、または動いているときに声をかけると泣き止むか動作を止める
- 近くで声をかける（またはガラガラを鳴らす）とゆっくり顔を向けることがある

《2 か月頃》

- 眠っていて急に鋭い音がすると、ビックと手足を動かしたり、まばたきをする
- 眠っていてこどもの騒ぐ声やくしゃみ、掃除機などの音に目を覚ます
- 話しかけると、「アー」とか「ウー」とか声を出して喜ぶ（ニコニコする）

《3 か月頃》

- ラジオの音、テレビの音、コマーシャルなどに顔（または眼）を向けることがある
- 怒った声や優しい声、歌や音楽に不安な表情をしたり、喜んだり、嫌がったりする

《4 か月頃》

- 日常の色々な音（玩具・テレビ・楽器・ドアの開閉）に関心を示す（振り向く）
- 名前を呼ぶとゆっくりではあるが顔を向ける
- 人の声（特に聞き慣れた母親の声）に振り向く
- 不意の音や聞き慣れない音、珍しい音にははっきりと顔を向ける

《5 か月頃》

- 耳元に時計を近づけると、秒針の音に振り向く
- 聞き慣れた父母や家族の声をよく聞き分ける
- 突然の大きな音や声にびっくりしてしがみついたり、泣き出したりする

《6 か月頃》

- 話しかけたり歌をうたってやると、じっと顔を見ている
- 声をかけると意図的にさっと振り向く
- ラジオやテレビの音に敏感に振り向く

XI. 資料・様式

《7 か月頃》

- 隣の部屋の物音や、外の動物の鳴き声などに振り向く
- 話しかけたり歌をうたってやると、じっと口元を見つめ、時に声を出して応える
- テレビのコマーシャルや番組のテーマ音楽の変わり目にパッと振り向く
- 叱った声（「メッ」「コラッ」など）や近くの突然の音に驚く（または泣き出す）

《8 か月頃》

- 動物の鳴き声をまねるとキャッキヤ言って喜ぶ
- 機嫌よく声を出しているときに真似てやると、またそれを真似て声を出す
- 「ダメッ」「コラッ」などと言うと、手を引っ込めたり、泣き出したりする
- 耳元に小さな声で話しかけると振り向く

《9 か月頃》

- 外の色々な音（車や飛行機の音、雨の音など）に興味を示す
- 「オイデ」「バイバイ」など人のことば（身振りは無しで）に応じて行動する
- 隣の部屋で物音をたてたり、遠くから名前を呼ぶとはってくる
- 音楽や歌をうたってやると、手足を動かして喜ぶ
- ちょっとした物音やちょっとでも変わった音がするとハッと向く

《10 か月頃》

- 「ママ」「マンマ」「ネンネ」など、人のことばを真似て言う
- 気付かれぬようにして、そっと近づき、ささやき声で名前を呼ぶと振り向く

《11 ヶ月頃》

- 音楽のリズムに合わせて身体を動かす
- 「チョウダイ」というと、そのものを手渡す
- 「○○ドコ？」と聞くと、そちらを見る

《12～15 か月頃》

- とんりの部屋で物音がすると不思議がり耳を傾けたり、あるいは合図をして教える
- 簡単なことばによるいつけや、要求に応じて行動する
- 目・耳・口・その他の身体部位をたずねると、指をさす

（田中・遠藤式）